

会社概要

(2014年9月30日現在)
社名 日本ルツボ株式会社
(登記上社名: 日本坩堝株式会社)
Name: Nippon Crucible Co., Ltd.

設立 明治39年(1906年)12月

本店所在地 東京都渋谷区恵比寿1-21-3
恵比寿NRビル
TEL(代表) 03-3443-5551

資本金 7億452万円
証券取引所 東京証券取引所
市場第二部

会計監査人 有限責任監査法人
トーマツ

証券コード 5355
従業員数 企業集団の従業員数
205名
当社の従業員数
156名

役員

(2014年9月30日現在)
取締役会長 岡田 民雄
代表取締役社長 大久保 正志
専務取締役 佐野 俊昭
常務取締役 坂本 信治
取締役 大橋 秀明
取締役 仁張 俊文
取締役 岡田 光一
常勤監査役 安田 哲夫
監査役 茂木 康三郎
監査役 草野 成郎

(注) 常勤監査役安田哲夫氏、
監査役茂木康三郎氏および
監査役草野成郎氏は、
社外監査役であります。

株主メモ


事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日 3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会 毎年6月下旬
単元株式数 1,000株
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

株式に関するお手続きについて

	証券会社等に口座を お持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続取扱店 (住所変更、株主配当金 受取方法の変更等)	お取引の証券会社等に なります。	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いで きませんのでご了承ください。 みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	○未払配当金の支払、支払明細発行については、上記の「特別口座の場合」 の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続取扱店をご利用く ださい。 ○単元未満の買取以外の株式売買はできません。 ○電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は 至急ご連絡ください。	

公告方法 電子公告(<http://www.rutsubo.com/>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、
日本経済新聞に掲載して行います。

ルツボについて 5,000年以上の歴史を持つルツボは、人類に様々な文明をもたらしてきました。現在でも、自動車・電気機器・機械・IT機器・公共土木・住宅関連・環境関連部品の製造には欠かせず、まさに一国の産業を支える器(うつわ)です。そのサイズは、酒杯くらいものから、大きいものは直径1m、高さ1.5mのものまであり、銅合金で5.5トン、アルミニウムで1.7トン溶解できます。ルツボは器としての機能は変わっていませんが、その素材および製造技術は日進月歩であり、当社のルツボも最先端の技術により進化を続けています。アジアの経済発展が急速に進む今、様々な産業で大量の金属部品が必要とされ、そのために最高品質のルツボが求められています。当社のルツボは新たな時代のニーズに確実に応えています。



日本ルツボ株式会社
NIPPON CRUCIBLE CO., LTD.

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-21-3 恵比寿NRビル
TEL: 03-3443-5551 FAX: 03-3443-5191
URL: <http://www.rutsubo.com/>



Heart&Spirit Ecology Challenge

NIKKAN

Report

第175期 中間報告書

2014年4月1日~2014年9月30日

日本ルツボ株式会社
NIPPON CRUCIBLE CO., LTD.

証券コード 5355

Top Interview

当社は、耐火物事業を核として、競争力・収益力・成長力のある企業体質の確立を目指してまいります。

最初に、経営方針についてお聞かせください。

当社グループは、「お客様第一」のもと、常にお客様に喜んでいただける製品やサービスを提供することを心掛けております。

お客様にご満足いただくためには、「モノづくり」をはじめ、すべての仕事の原点である「現場力」と高い目標を必ず達成する「実現力」がなければなりません。全社員が一丸となって目標に向かって邁進するなかで、それぞれが仕事に喜びや生きがいを見出し、個人の能力を最大限に発揮することで、自らを高め人間として成長することができるのです。

社員一人ひとりが夢を抱き、いきいきと働き、自ら立てた目標を確実に達成していくことで、お客様に新たな価値を提供し続けてまいります。

130年の歴史を尊重しつつも、常に最先端の技術を追求していく企業でありたいと考えております。

第175期第2四半期の業績についてご説明ください。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安の進行に伴い大企業や輸出関連産業を中心に企業収益が改善し設備投資も増加するなど、景気は緩やかながら回復基調で推移いたしました。しかしながら、4月の消費税増税に伴う駆け込み需要の反動による個人消費の落ち込みや円安に伴う原材料価格の上昇等が企業業績の下振れ要因となり、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

主要取引先である自動車関連産業は、全体としては米国を中心とした海外市場での好調な需要を背景に高水準で推移しておりますが、国内生産台数は消費税増税の反動による買い控えの影響等から、対前年比マイナスと厳しい状況にあります。鉄鋼産業につきましては、国内建設関連産業の需要に支えられ概ね順調に推移いたしております。

このような状況のなか、当社グループは営業と技術が一体となり、主力製品や新製品の拡販活動を積極的に推進してまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は40億2百万円(前年同四半期比3.4%増)となりました。

利益面では、原材料価格や燃料費が上昇したことなどにより利益率が低下したこと、また研修関係費、運搬費などの経費が増加したことにより、営業利益は1億3千万円(前年同四半期比17.4%減)、経常利益は1億4千4百万円(前年同四半期比10.1%減)となりました。四半期純利益は、前期の非連結子会社の合併に伴う特別利益がなくなったため、9千9百万円(前年同四半期比40.2%減)となりました。

自社の特徴と強みについてはどのようにお考えですか。

当社は、130年の歴史を有する耐火物専門メーカーとして、お客様のニーズに対し、きめ細かなサービスをスピーディに対応できることです。

今後も更なる品質改善に努め、お客様に喜んでいただける製品とサービスを提供してまいります。

海外事業への取組みについてお聞かせください。

海外市場に対しては、2011年に設立した「日坩商貿(上海)有限公司」を核として、中国およびアジア市場への積極的な営業活動を展開し、鑄造部門「アジアNo. 1」の地位の確立を目指しております。

最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いいたします。

当社グループは、「新製品の開発」「新市場の開拓」「新事業の構築」に向け、グループ一丸となって競争力、収益力、成長力のある企業体質の確立を目指しております。

今後も株主の皆様には、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

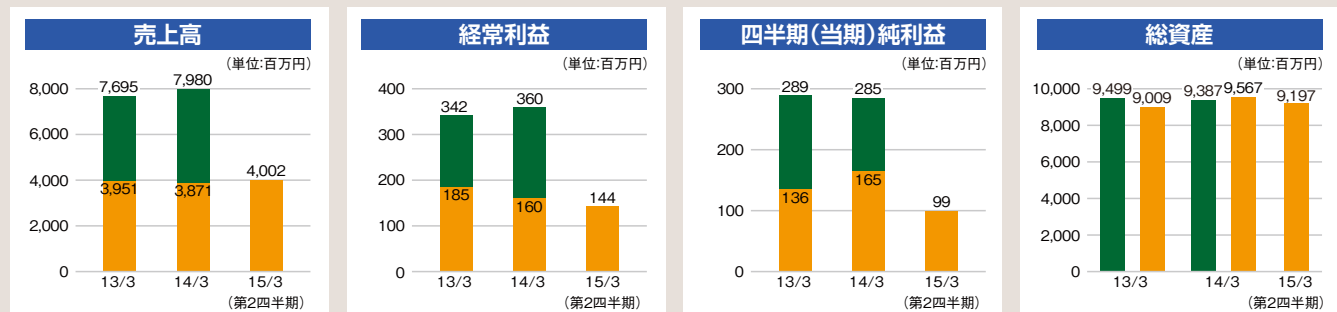
平素、株主の皆様におかれましては、当社グループへの一方ならぬご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第175期第2四半期の業績および事業概況についてご報告させていただきます。

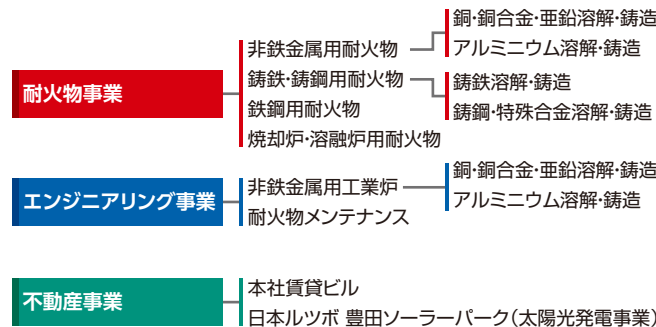
代表取締役社長

大久保正志

■ 連結財務ハイライト



■ 事業内容のご紹介



■ グループの海外ネットワークと戦略



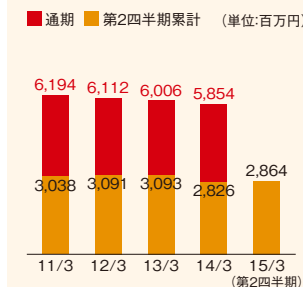
■ セグメント情報

▶ 耐火物事業

耐火物事業の事業戦略は、国内市場におけるシェアアップを着実に進めるとともに、鋳造分野で「アジアNo.1」の地位を築くべく中国およびアジア市場へ積極的な営業活動を展開しております。事業戦略の目指す方向性は、「省エネ型製品」「環境に優しい製品」「次世代特殊金属溶解用製品」「品質向上と新たな用途開発」であり、これらの研究開発を積極的に進め顧客満足向上に努めております。

第175期第2四半期の当社を取り巻く経営環境は、主要取引先である自動車関連産業において、国内生産台数が消費税増税の反動による買い控えの影響等から対前年比マイナスと厳しい状況にあります。一方、鉄鋼産業は国内建設関連産業の需要に支えられ概ね順調に推移しております。自動車関連を中心とした鋳造市場向けでは、誘導炉への取組強化や主力製品である黒鉛ルツボおよび不定形耐火物の更なる品質向上と新たな用途開発を進めるとともに、「高周波誘導炉用ルツボ(ホワイトフェニックス)」「省エネ型縦溝付ルツボ(ゼブラックス)」「低レベル放射性廃棄物処理用ルツボ(キャニスタ)」「アルミ溶湯搬送取鍋(ポットリーベ)」「高純度ジルコニアルツボ(ジルコニックス)」等の開発製品の拡販活動を、積極的に進めてまいりました。また、鉄鋼市場向けでは、製品の更なる品質向上と技術サービスの強化に努め、きめ細かな顧客対応等によりシェアの維持・拡大を図ってまいりました。

売上高構成費
71.6%



キュボラ用耐火物



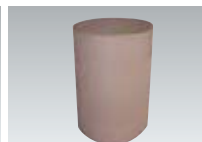
フェニックスルツボ



省エネ型縦溝付ルツボ(ゼブラックス)



高周波誘導炉用ルツボ(ホワイトフェニックス)



低レベル放射性廃棄物処理用ルツボ(キャニスタ)



高純度ジルコニアルツボ(ジルコニックス)

売上高
2,864百万円

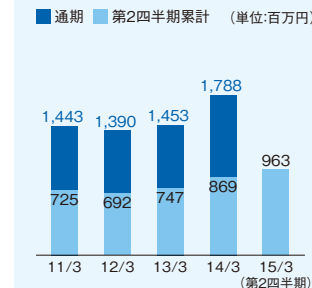
▶ エンジニアリング事業

当社のエンジニアリング部門は、鋳鉄鋳造市場と非鉄鋳造市場部門を担当する「築炉事業部」と焼却炉・溶融炉市場を担当する「環境事業部」が、耐火物メーカーとしてのエンジニアリング事業を推進しております。

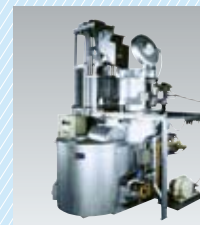
築炉事業部門は、国内および海外のダイカスト市場において、省エネ・高歩留まり・高品質溶湯の「ルツボ式連続溶解兼保持炉(メルキーパー)」および安全性とメンテナンス性を大幅に改善したレンガ式の「中小型溶解兼保持炉(NM炉)」が高い評価をいただいております、好調に推移いたしました。

環境事業部門は、民間から自治体に至る焼却炉の補修工事の受注獲得に努め、好評をいただいている「特殊補修材(クイックセッター)」を中心とした耐火物を積極的に拡販しております。

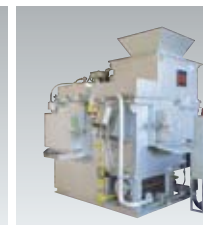
売上高構成費
24.0%



売上高
963百万円



ルツボ式連続溶解兼保持炉(メルキーパー)



中小型溶解兼保持炉(NM炉)



アルミ溶湯搬送取鍋(ポットリーベ)



特殊補修材(クイックセッター)

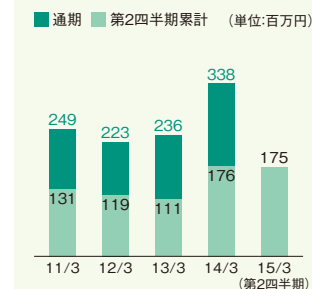
▶ 不動産事業

2002年12月に完成した本社ビルの賃貸事業は12年目になりますが、立地条件の良さから安定した業績を維持しており、引き続きお客様のニーズに合ったテナントビルとして設備の充実にも努めてまいります。

2013年3月に新規事業として開始した太陽光発電事業は、当初予想を上回る発電量を確保しており、安定した収益事業になっております。

今後とも、不動産事業として本社ビルの賃貸事業と太陽光発電事業を中心に、安定的な収益の確保に努めてまいります。

売上高構成費
4.4%



売上高
175百万円



日本ルツボ本社ビル



日本ルツボ 豊田ソーラーパーク

■ 四半期連結貸借対照表

科目	当第2四半期 連結会計期間 2014年9月30日	前連結会計年度 2014年3月31日
資産の部		
流動資産	5,602,515	5,766,173
現金及び預金	1,325,450	1,560,690
受取手形及び売掛金	2,551,226	2,464,720
電子記録債権	53,185	39,370
たな卸資産	1,360,814	1,397,830
その他	317,699	309,550
貸倒引当金	△5,859	△5,987
固定資産	3,593,998	3,620,337
(有形固定資産)	(2,086,829)	(2,189,378)
建物及び構築物	944,693	962,374
機械装置及び運搬具	802,650	861,359
土地	95,775	95,775
その他	243,711	269,870
(無形固定資産)	(117,494)	(118,463)
(投資その他の資産)	(1,389,675)	(1,312,496)
投資有価証券	857,510	758,881
繰延税金資産	287,888	302,207
その他	248,827	256,282
貸倒引当金	△4,550	△4,874
資産合計	9,196,513	9,386,510

(単位:千円、千円未満四捨五入)

科目	当第2四半期 連結会計期間 2014年9月30日	前連結会計年度 2014年3月31日
負債の部		
流動負債	3,554,771	3,755,167
支払手形及び買掛金	570,810	940,922
電子記録債務	697,480	415,644
短期借入金	1,579,700	1,675,693
その他	706,781	722,908
固定負債	2,058,293	2,160,782
長期借入金	1,014,150	1,106,000
退職給付に係る負債	555,618	545,651
その他	488,525	509,131
負債合計	5,613,064	5,915,949
純資産の部		
株主資本	3,394,804	3,363,749
資本金	704,520	704,520
資本剰余金	56,076	56,076
利益剰余金	2,703,446	2,672,257
自己株式	△69,238	△69,104
その他の包括利益累計額	176,057	91,811
少数株主持分	12,588	15,001
純資産合計	3,583,449	3,470,561
負債純資産合計	9,196,513	9,386,510

POINT

〈貸借対照表〉	〈損益計算書〉
① 流動資産 借入金返済により現金及び預金が2億3千5百万円減少いたしました。	売上高は40億2百万円と前年同四半期比1億3千1百万円増加いたしました。
② 固定資産 減価償却により有形固定資産が1億3百万円減少いたしました。株価の上昇などにより、投資有価証券が9千9百万円増加いたしました。	円安による原材料価格の上昇により利益率が低下したこと、また研修関係費や運搬費等の経費が増加したことにより、営業利益は1億3千万円と前年同四半期比2千7百万円の減益、経常利益は1億4千4百万円と前年同四半期比1千6百万円の減益となりました。
③ 流動負債 支払手形を電子債権決済サービスに切替えたことにより、支払手形が減少し、電子記録債務が2億8千2百万円増加いたしました。	四半期純利益は、9千9百万円となり、前年の特別利益がなくなったことにより、前年同四半期比6千6百万円の減益となりました。
④ 固定負債 長期借入金が9千2百万円減少いたしました。	
⑤ 株主資本 利益剰余金が3千1百万円増加いたしました。自己資本比率は38.8%と前連結会計年度末比2.0%増加いたしました。	

■ 四半期連結損益計算書

科目	当第2四半期 連結累計期間 自2014年4月1日 至2014年9月30日	前第2四半期 連結累計期間 自2013年4月1日 至2013年9月30日
売上高	4,002,313	3,871,037
売上原価	2,979,514	2,844,044
売上総利益	1,022,799	1,026,993
販売費及び一般管理費	893,005	869,883
営業利益	129,794	157,110
営業外収益	40,600	35,174
営業外費用	26,674	32,397
経常利益	143,720	159,887
特別利益	—	47,013
特別損失	1,355	3,591
税金等調整前四半期純利益	142,365	203,309
法人税、住民税及び事業税	63,530	37,000
法人税等調整額	△17,538	2,988
少数株主損益調整前四半期純利益	96,373	163,321
少数株主損失(△)	△2,413	△1,851
四半期純利益	98,786	165,172

(単位:千円、千円未満四捨五入)

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当第2四半期 連結累計期間 自2014年4月1日 至2014年9月30日	前第2四半期 連結累計期間 自2013年4月1日 至2013年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	130,531	227,727
投資活動によるキャッシュ・フロー	△72,142	△32,027
財務活動によるキャッシュ・フロー	△293,854	△227,514
現金及び現金同等物に係る換算差額	225	696
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△235,240	△31,118
現金及び現金同等物の期首残高	1,422,090	1,297,316
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	71,051
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,186,850	1,337,249

(単位:千円、千円未満四捨五入)

株式の状況 (2014年9月30日現在)

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式総数	14,090,400株(自己株式571,685株を含む。)
株主数	1,511名

大株主の状況 (2014年9月30日現在)

株主名	持株数	持株比率
株式会社みずほ銀行	650,000株	4.80%
柏屋商事株式会社	550,000株	4.06%
岡田民雄	472,000株	3.49%
日本坩堝従業員持株会	461,000株	3.41%
野村信託銀行株式会社(信託口)	432,464株	3.19%
東京海上日動火災保険株式会社	280,000株	2.07%
岡元富男	255,000株	1.88%
日本精鉱株式会社	254,000株	1.87%
三井住友海上火災保険株式会社	238,000株	1.76%
ヒューリック株式会社	238,000株	1.76%

(注) 1.当社は自己株式571,685株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
2.持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
3.持株比率は自己株式(571,685株)を控除して計算しております。

株式の分布 (2014年9月30日現在)

